

# ETUDES FRANÇAISES

n° 30  
mars 2023

中原暁彦	1	『バルラームとヨサファト（シャンパーニュ版）』系統樹 —共通祖本 a(ABE) の内部構造—
片山幹生	20	文学的寓意としての中世ハーブ —ギヨーム・ド・マシヨ『ハーブの賦（ディ）』読解—
中野 茂	35	『ボヴァリー夫人』における〈カラス事件〉、 〈ラ・パール事件〉、〈シルヴァン事件〉の影
佐藤陽介	51	「悪」のモラル —「殉教の女」を中心に斬首について—
國房吉太郎	69	エルスチールにおける隠喩的表現 —プルーストの印象主義—
佐々木匠	81	繰り返される主題 —カミュの孤独に対する振り子運動—
梶田 裕	95	『名づけえぬもの』読解（1） —発話行為をめぐるドラマ—
鈴木雅雄	112	視線を配達する —奇想絵葉書とシュルレアリスム—
片山幹生	129	追悼 小倉さんのこと